

《担当者名》臨床福祉学科全教員

【概要】

3年間の講義・実習・演習等を通じて学んだ専門的な知識や技術をもとに、日常的な社会問題や社会福祉に関する諸活動について研究的な視点から学ぶ。学生個々の関心に基づいて課題を設定し、担当教員の指導のもとで卒業論文としてまとめる。

【学修目標】

卒業論文の作成を通じて、問題意識の醸成、研究の方法、参考文献・資料等の収集方法、調査の方法、発表の方法等が身に付く。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション	卒業論文作成の手順についての確認	全教員
2	論文作成(1)	課題の深化	全教員
3	論文作成(2)	課題の分析・深化と必要な資料の収集	全教員
4	論文作成(3)	課題の分析・深化と必要な資料の収集	全教員
5	論文作成(4)	課題の深化と必要な資料の収集、他学生との意見交換	全教員
6	論文作成(5)	課題の深化と必要な資料の収集、他学生との意見交換	全教員
7	論文作成(6)	課題の深化と必要な資料の収集、他学生との意見交換	全教員
8	論文作成(7)	課題の解決に向けての調査(文献、実態調査など)	全教員
9	論文作成(8)	課題の解決に向けての調査(文献、実態調査など)	全教員
10	論文作成(9)	課題の解決に向けての調査(文献、実態調査など)	全教員
11	論文作成(10)	課題の解決に向けての調査(文献、実態調査など)	全教員
12	論文作成(11)	課題の解決に向けての調査(文献、実態調査など)	全教員
13	論文作成(12)	課題の解決に向けての調査(文献、実態調査など)	全教員
14	論文作成(13)	課題の解決に向けての調査(文献、実態調査など)	全教員
15	小括	前期に取り組み状況についての意見交換・確認	全教員
16	論文作成(14)	進捗状況と今後の論文作成予定の確認	全教員
17	論文作成(15)	文献等資料の収集、調査の実施及び卒業論文作成	全教員
18	論文作成(16)	文献等資料の収集、調査の実施及び卒業論文作成	全教員
19	論文作成(17)	文献等資料の収集、調査の実施及び卒業論文作成	全教員
20	論文作成(18)	文献等資料の収集、調査の実施及び卒業論文作成	全教員
21	論文作成(19)	文献等資料の収集、調査の実施及び卒業論文作成	全教員
22	論文作成(20)	文献等資料の収集、調査の実施及び卒業論文作成	全教員
23	論文作成(21)	文献等資料の収集、調査の実施及び卒業論文作成	全教員
24	論文作成(22)	文献等資料の収集、調査の実施及び卒業論文作成(まとめ)	全教員
25	論文作成(23)	文献等資料の収集、調査の実施及び卒業論文作成(推敲)	全教員
26	発表・報告	卒業論文の報告及び概要書の作成	全教員
27	発表・報告	卒業論文の報告し、概要書を作成する	全教員
28	発表・報告	卒業論文の報告及び課題に関する今後の課題の深化	全教員
29	発表・報告	卒業論文の報告及び課題に関する今後の課題の深化	全教員
30	総括	これまでの学修の成果及び今後の課題の展望	全教員

**【授業実施形態】**

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

**【評価方法】**

卒業論文担当教員である主査と、副査教員による査読を経て、主査が評価を行う（観点別評価：100%）。

**【教科書】**

必要に応じ、担当する教員が提示する。

**【参考書】**

必要に応じ、その都度担当する教員が提示する。

**【学修の準備】**

卒業論文に関連する論文を読解すること。

予習：毎回、授業時に提示する内容に取り組むこと（80分間）。復習：毎回、授業時に提示する課題に取り組むこと（80分間）。

**【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】**

DP3,1,2,4,5